

科学の進歩と宗教

マイナンバーカードの問題が二
ユースを賑わしていますが、近年
のAI（人工知能）の進化は目ま
ぐるしいものがあります。このA
Iの進歩で世の中が変わると言
われていきますし、そのうち人間
を超えるのじやないかとも言わ
れています。科学がもっと発達
したら、宗教も必要なくなる
のではないかと懸念も生じて
きます。

教の役割がなくなることは
ないでしょう。世界はこれまで
もこれからも絶えず変化を続
けています。浄土真宗は開
宗八百年を迎えますが、変
わらず人々のよりどころとな
っているのは、人の悩みや迷
いの本質は、変わっていないか
らでしょう。

人間は特定の時代と環境
に生まれ、思いどおりにならな
い中を生きて、老い病み死なね
ばなりません。そういう思いど
おりにならない人生を、何が
起こっても、ごまかさず、逃げ
ずに生きるためには、安心でき
る拠り所（帰すところ）がなく
てはなりません。それが宗
教の役割です。便利に・楽に・
安易に・安全に・清潔にという
方向（AIの目指すところ）の支
えではなく、あらゆる営みを
無条件に根底で支える大地のよ
うな何かです。

AIは、どこまでも人間の便利
や好都合のために改善するため
のものです。AIによって、仕事
や生活の多くの分野で、便利で
快適、安全、正確、肉体的負担
軽減になるでしょう。しかし、そ
ういうことがいくらハイレベルに
なつても、それによつては、人間
の生死の根本問題は解決しませ
ん。また、今後もそのような時
代が到来することはないでしょ
う。AIは、世界や私たち自身
の存在の必然性や意義を説明で
きません。私たちは、生身の人
間として、人間関係のなかを生
きていくわけです。そこには、不
思議としかいいようのない多く
のことがあります。

さらに、最近、お寺離れが増
え浄土真宗の教えに触れる
機会が減っているのではないでし
ようか。俗世の中で悩み、迷いな
がら、突然のきつかけで教えに
出会い、気付かされるのです。

上手にAIと付き合い、同時に
人生や生きることそのものの問
題を問い続けていきましょう。

（仏教なるほど相談室 参照）